森下仁丹

PressRelease

報道関係者各位

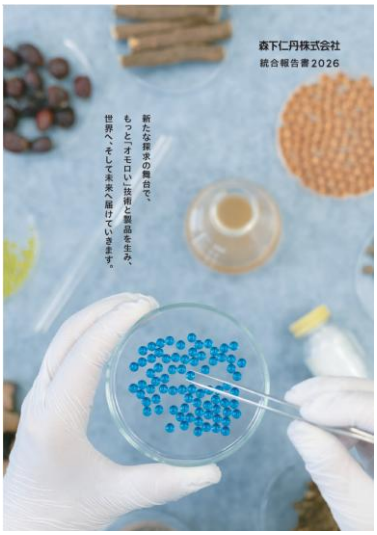
2026年11月19日
森下仁丹株式会社

森下仁丹「統合報告書2026」を発行

2026年11月19日（木）当社コーポレートサイトにて公開

森下仁丹株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長森下雄司、東証スタンダード上場、証券コード：4524、以下「当社」）は、2026 年 11 月 19 日（木）に「統合報告書 2026」を発行し、コーポレートサイトにて公開いたしました。

※公開 URL：https://www.jintan.co.jp/pdf/integrated_report2026in.pdf



本誌では、2026 年 1 月に開設した「Jintan 中之島ラボ」での腸内環境研究・素材研究における科学的根拠の蓄積やコア技術の深掘りをはじめ、競争優位性を構築する知財戦略の推進など、独自技術の価値をより一層深めていく取り組みについて特集いたしました。

また、大阪テクノセンターにおけるカプセル製造ラインの増設により、多様なニーズに柔軟に応える体制を整えるとともに、滋賀拠点との連携強化によって拡大する国内外のカプセル需要への安定供給や、多様な剤型に対応できるグループ全体の生産体制強化について紹介しております。

加えて、サステナビリティおよび ESG 経営の内容、持続可能な社会の実現と企業価値向上に向けた取り組みを、財務・非財務の両面から総合的にご説明しております。

当社はこれからも、コーポレートサイトや統合報告書などにより適切な情報開示に努めるとともに、株主の皆様をはじめステークホルダーとの対話を通じて企業価値向上に努めてまいります。

＜TOP　MESSAGE＞



当社は持続可能な社会への要請や品質・安全性に応え続けることを使命とし、製品の供給責任やリスク対応力の向上など、変化に足を取られない強固な基盤構築を進めています。

研究拠点の集約やカプセル新製造ラインなどの先行投資を活かし、独自の技術を核とした提案型ビジネスへのシフトや、「おなか」「おくち」領域への戦略的な経営資源の集中を推進しています。さらに、自社製品の厳選や DX 活用を通じて筋肉質な収益構造への転換を図り、コスト競争力の強化と環境負荷低減を両立させてまいります。

従業員一人ひとりの熱意と挑戦する組織風土を原動力に、社会になくてはならない存在として「オモロい」価値を届け、いつの時代も「やはり森下仁丹がいい」と選ばれる企業を目指してまいります。

＜森下仁丹株式会社「統合報告書 2026」の概要＞

■公開日：2026 年 11 月 19 日（木）

■公開 URL：https://www.jintan.co.jp/pdf/integrated_report2026in.pdf

■主な内容：

研究の深化と進化

施設強化・研究／腸内環境研究・素材研究／知財

森下仁丹の価値創造ストーリー

トップメッセージ／５つのマテリアリティ／価値創造プロセス／広がる事業領域／ビジネスモデル

森下仁丹の事業戦略

事業ポートフォリオ／コンシューマー事業／ソリューション事業／モノづくりの基盤／グローバル市場／財務・非財務ハイライト

森下仁丹のサステナビリティ（５つのマテリアリティへの取り組みについて）

健やかさ・豊かさへの貢献／森下“仁財”の活躍推進／安心・安全な製品の供給／地球環境への配慮／経営基盤の強化

会社概要／株式情報

「鼻・のど甜茶飴」誕生秘話